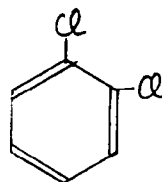


0-ジクロロベンゼンの濃縮度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年3月24日～昭和50年6月19日
2. 試料名 0-ジクロロベンゼン (試料No K-29A)
- 分子式 $C_6H_4Cl_2$
- 構造式



3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号
 英 第 6 / 5 号 } 魚介類の体内における化学物質の濃縮度試験による
 49基局第392号

3.1 試験装置及び機器

水系環境調節装置 流水式
 ガスクロマトグラフ 検出器 ECD

3.2 試験条件

3.2.1 TLM 試験

(a) 試験魚

ヒメダカ平均体重 0.24g 塩化第二水銀合格魚※
 ※田端健二 用水と廃水 14, 1297~1303 (1972)

(b) 分散剤

ポリオキシエチレン高級脂肪酸グリコールエステル
 (高級脂肪酸: リシノール酸水素添加物)

第1濃度区 試料 / 重量に対し 分散剤 2.5重量使用

第2濃度区 試料 / 重量に対し 分散剤 2.5重量使用

(c) 試験温度 $25 \pm 2^\circ C$

(d) 結 果

48 TLM 10 ppm

3.2.2 濃縮度試験

(a) 試験魚

コイ, 平均体重 約 3 / g
 平均体長 約 1 / cm

(b) 試験温度 $25 \pm 2^\circ C$

(c) 試験濃度

設定値

第1濃度区 $10 \times \frac{1}{100} \text{ ppm} (0.1 \text{ ppm})$

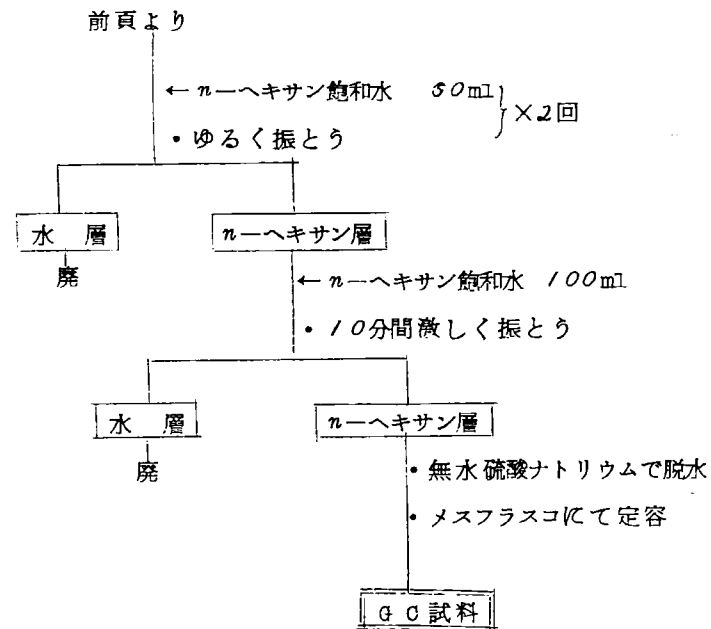
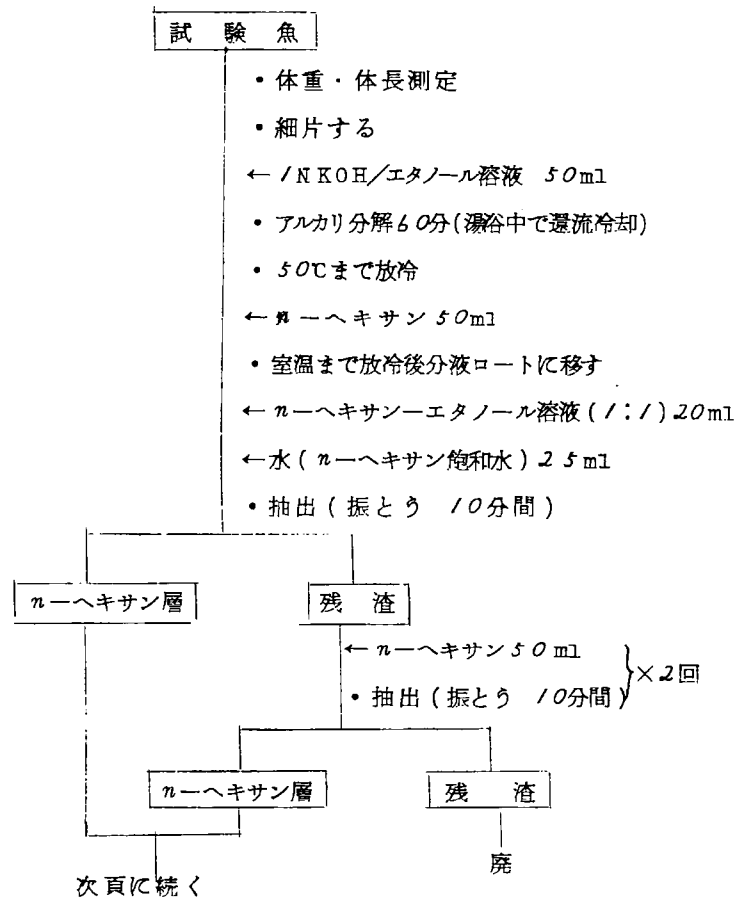
第2濃度区 $10 \times \frac{1}{1000} \text{ ppm} (0.01 \text{ ppm})$

実測値

表-1 濃縮倍率を求めるための平均濃度 (ppm)

区 分	2 W	3 W	4 W	6 W	8 W
第1濃度区	0.050	0.049	0.051	0.053	0.055
第2濃度区	0.0057	0.0059	0.0061	0.0064	0.0063

3.2.3 分析試料の前処理



3.2.4 分析条件

ガスクロマトグラフ(GC)検出器ECD

キャリアガス N₂

充てん剤 アピエゾンL 2% クロモソルブW

ステンレスカラム 2mmφ×2m

カラム温度 100℃

(以下余白次頁に続く)

4. 試験結果

表 一 2 濃 縮 倍 率

$\times 10^2$

	2 W	3 W	4 W	6 W	8 W	付 図	付 表
第1濃度区	1.7	1.7	1.6	1.5	2.3	1. 5. 6. 7	3. 4. 6
	1.5	1.7	1.5	2.0	1.6		
第2濃度区	2.5	1.6	0.9	1.1	2.2	2. 5. 8 9	3. 5. 6
	2.6	1.6	1.0	1.9	2.0		

5. そ の 他

試料は揮散性があるため水槽濃度の実測値は設定値の約50%しか得られなかった。

以 上